

### 農耕と牧畜の始まりⅡ

採集と狩りの生活 ⇒ 動物・植物の知識



動物を飼い慣らす→子供を産ませる  
(羊・牛)



**牧畜の始まり** [西南アジア等の冬は寒く乾燥した地域]

牧畜民： 乳をとる→乳製品を作る←→農耕

： 農耕民から穀物を得る

農耕の発達 [1年中暖かく、雨の多い地域]

農耕の発生地

地中海 — 小麦、大麦など (羊、ヤギ、牛などの飼育)

( ) — 米 (インド・中国・東南アジアなど諸説)

└ バナナ、タロイモなど (東南アジア)

( ) — とうもろこし、じゃがいもなど

( ) — ささげ、ひょうたん、ごまなど

牧畜・農耕の発達⇒⇒⇒定住生活 →→ ( ) の形成

共同で働く身分差のない社会

道具の進歩

・必要に応じて形を整えた \_\_\_\_\_ 石器

・煮たきや食べ物の保存のため \_\_\_\_\_ の使用

・衣服を麻や羊毛で織る

..... \_\_\_\_\_ 時代

### 日本の旧石器時代

・氷河期には、今より海面が約100mも低く、当時の日本列島は大陸と地つづきだった。

・1875年にナウマン象が日本にもいたことがわかった。

・1946年に群馬県・岩宿で \_\_\_\_\_ のかけらを見つけた。

赤土層 ( \_\_\_\_\_ ) より

日本にも \_\_\_\_\_ が存在した。

( \_\_\_\_\_ )

旧石器時代

・寒冷な気候→→植物の果実は少ない

・ナウマン象など大型の動物の狩りをした

・獲物を求めて移住していた